

医療圏別具体的対応方針等検討状況整理票

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R3.7.1 ※1	病床機能報告による 機能別病床数 ※1		施設基準の 状況 R3.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方 について」から集約・抜粋(プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理) ※4	「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」の検討結果 ※5										
				R3.7.1	R7.7.1		地域 医療 支援	救急 医療 施設	在宅 療養 支援	在宅 療養 後方 支援	終 末 期 医 療		機能別病床 数(2025)	変更 あり	変更 なし	検討 中	具体的な変更内容等						
1	宇部・小野田	サンボプラ病院	療養 42 42	慢性 42 慢性 42								○						・周辺地域の無床診療所からの入院患者受け入れを行っているが、さらに連携を強化して機能を充実させていく。 ・急性期医療(整形外科手術等)を受けた後の入院患者の在宅復帰に向けた受け皿としての機能をさらに充実させていく。	慢性 42 慢性 42		○		・現状を維持していきます。
2	宇部・小野田	山口宇部医療センター	一般 335 335	急性 335 慢性 215 急性 120 慢性 120								○	○					・がん、呼吸器疾患の専門病院として、地域医療機関との連携により高度で先進的な診療を行っている。 ・県から特定領域がん診療連携推進病院(肺がん)に指定されている。全国でも肺がん症例が多く、肺がんの診断から緩和ケアまであらゆる病期の患者の診療をシームレス行うことが可能である。 ・治験・臨床試験の実施など全国レベルの質の高い先進的な臨床研究を行っている。 ・山口大学医学部附属病院と連携した呼吸器専門医の養成等の医師教育等、地域医療の向上に努めている。 ・結核及び重度心身障害児(者)にかかる政策医療(セーフティネット系医療)も担っている。	急性 335 慢性 215 慢性 120		○		①参考データ(調整会議資料2-3を参考) 1)入院患者数 当院が専門とする呼吸器の入院患者数は、山口県全体及び宇部・小野田医療圏内において、今後も2035年をピークに増加傾向にある。(P12・P17) 当院が専門とする肺がんの入院患者数は、宇部・小野田医療圏内において、約7割を占めている。(P18) 2)二次医療圏別DPC退院患者数の主要診断群流出 宇部・小野田医療圏における呼吸器系疾患(MDC04)は、他医療圏からの流入割合が45.0%(1,455人)と高い。(P15・P16) 3)宇部・小野田医療圏における化学療法及び放射線療法の件数 呼吸器系疾患における化学療法及び放射線療法については、当院が最も多く実施している。(P29) 4)宇部・小野田医療圏におけるDPC患者病院別構成比 当院が専門とする呼吸器系疾患(MDC04)は、4割超を当院が占めている。(P34) ②検討内容 呼吸器系の入院患者数は山口県全体及び宇部・小野田医療圏内において、2035年をピークに増加傾向にあり、他医療圏からも患者が流入している状況にある。また、宇部・小野田医療圏における呼吸器系疾患については、当院が4割超を占めており、更に肺がんについては約7割を占めている。 特に当院における肺がん患者については、化学療法や放射線治療を必要とする患者が多く、更には緩和ケア機能も併せ持つ急性期医療を担っている。 ③検討結果 今後の患者動向を踏まえると当院における医療ニーズに大きな変化はなく、地域の医療ニーズにこれまでどおり応えるためには現行の病床を規模を維持する必要があることから、当面は現行の医療体制を維持し、がん・呼吸器疾患の専門病院として地域医療機関との連携により高度で先進的な診療を行うと共に「特定領域がん診療連携推進病院」として、山口県全体の診療をカバーする。 また、結核及び慢性期病床として位置づけられている重度心身障害児(者)にかかる政策医療も引き続き担っていく。
3	宇部・小野田	山口大学医学部附属病院	一般 713 713	高度 713 急性 310 403								◎						・特定機能病院として、高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する。 ・特定機能病院、肝疾患診療連携拠点病院、がん診療連携拠点病院及び総合周産期母子医療センターとして、2次医療圏の範囲を越えた地域の住民を対象として、専門性の高い医療を提供する。 ・山口県内唯一の産科医療として、山口県の実情に応じた教育体制を構築する。	高度 713 急性 309 急性 404		○		「具体的対応方針の見直し・検証」: 「変更しない」 本院は県内唯一の特定機能病院として、引き続き県内全域を対象とした高度医療の提供を継続するため、これまでの対応方針は変更しない。 「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」: 令和6年度からの医師の働き方改革への対応状況も注視しながら、医療圏における医療提供体制について引き続き検討していく必要がある。
4	宇部・小野田	宇部協立病院	一般 159 療養 105 54	急性 159 回復 53 慢性 52 54								○	○					・在宅療養支援病院(在宅医療の実施、在宅支援診療所との連携) ・2次救急担当。 ・無料低額診療事業を実施	急性 159 回復 53 慢性 52 慢性 54		○		・前年度の実績として急性期の病床稼働率は 91.4%、慢性期の病床稼働率は 95%、回復期の病床稼働率を含めた病院全体の病床稼働率は、95.8%という状況であり、現時点では急性期及び慢性期の維持は必要と考えています。(下線部分を追記又は削除)
5	宇部・小野田	宇部仁心会病院	一般 47 療養 22 25	急性 47 慢性 22 25														・人工透析患者に対する療養及び心臓カテーテルを中心とした急性期医療。	急性 47 慢性 22 慢性 25		○		
6	宇部・小野田	宇部記念病院	一般 190 療養 128 62	急性 190 慢性 66 124								○	○					・かかりつけ医機能と共に在宅医療を担い、入院医療においては、サブアキュート機能・ポストアキュート機能・在宅復帰支援を中心とした回復期医療及び療養病棟・障害者病棟の運営による慢性期医療を提供する。 ・2次救急医療は引き続き担い充実を図る。 ・住民に向けて、健康づくり・介護予防教室・住民カフェの開催等の地域貢献活動に取り組む。	急性 190 回復 45 慢性 55 慢性 90		○		
7	宇部・小野田	宇部興産中央病院	一般 384 384	高度 384 急性 62 237 回復 85								○	○					・山口大学医学部附属病院のみでは対応しきれない、脳卒中・運動器疾患・がん・心大血管疾患への対応を中心とした高度急性期・急性期医療の提供体制は維持していく。 ・地域包括ケア病等の地域に必要とされる回復期機能の一部を拡大させて、在宅復帰率・介護施設への退院数を増加させる。 ・二次医療圏域内からの救急受入れを担うとともに、二次医療圏域外からも救急受入れを柔軟に対応する。 ・自宅、施設を含めた在宅医の後方支援や在宅患者、在宅施設の感染管理教育、多職種連携の推進など在宅医療の促進。	高度 396 急性 62 回復 246 回復 88	○			機能別病床数(2025)については、病床機能報告の機能別病床数のとおり。一病棟耐震化及びリニューアル工事に伴い、病床数が若干減少(急性期9床、回復期3床)したので、それを病床機能報告において報告済み。機能病床数(2025)の予定についても、それと合致させる。 《機能別の病床数》※R3病床機能報告で報告済 高度急性期62 急性期246 ⇒ 237 回復期88 ⇒ 85 合計396 ⇒ 384

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R3.7.1 ※1	病床機能報告による 機能別病床数 ※1		施設基準の 状況 R3.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方 について」から集約・抜粋(プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理) ※4	「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」の検討結果 ※5									
				R3.7.1	R7.7.1		地域 医療 支援	救急 医療 施設	在宅 療養 支援	在宅 療養 後 方 支 援	終 末 期 医 療		病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床 数(2025)	変更 あり	変更 なし	検討 中	具体的な変更内容等			
8	宇部・小野田	社会医療法人いち樹会尾中病院	一般療養 110 60 50	回復慢性 110 60 50	回復慢性 110 60 50	地ケア 46 46							○		・4機能のうち、回復期、慢性期が中心。	・地域包括ケアシステムにおけるハブ機能を果たし、地域に根ざした地域医療・介護連携の中心的役割を担う。 ・ポストアキュートとして、医療圏内の高度急性期からの紹介を積極的に受け入れ、サブアキュートとして、診療所・介護施設と連携を密にし、初期救急、慢性疾患の急性増悪の患者受け入れを図る。 ・予防としての健康診断事業、在宅復帰等のための短期通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションを拡充していく。予防から救急・医療・介護・在宅までシームレスなサービスを提供する。	急性 110 回復 14 慢性 46 慢性 50			○		
9	宇部・小野田	宇部第一病院	療養 160 160	回復慢性 160 32 128	回復慢性 160 32 128	回リハ 32 32									・回復期機能、慢性期機能を担う。 ・介護保険施設等を併設し、医療・介護のシームレスな連携が可能。	・慢性期医療を中心に、準急性期・回復期医療を維持していく。 ・整形外科疾患に常時対応する。	回復 160 慢性 32 慢性 128			○		
10	宇部・小野田	宇部リハビリテーション病院	療養 232 232	回復慢性 232 40 192	回復慢性 232 80 152	回リハ 40 40								○	・回復期機能、慢性期機能を担う。	・急性期医療を受けた後の医療が必要な患者及び在宅等で急性増悪した患者の受け入れ機能を一層充実させていく。	回復 232 慢性 92 慢性 140			○		
11	宇部・小野田	セントヒル病院	一般療養 184 101 83	急性慢性 184 101 83	急性回復慢性 184 101 43 40	地ケア 14 14								○	・急性期機能、回復期機能、慢性期機能を担う。 ・4機能のうち急性期が中心。	・血液浄化治療(透析)やPET-CTを中心に当院に特徴のある部分を活かして更なる地域貢献のできる体制作りをしていく。 ・在宅医療の協体制作り。	急性 184 回復 101 慢性 43 慢性 40			○		・現時点では変更ないが、現在病院の建て替え検討中であり、病床数や医療機能について今後変更の可能性あり。 ・新たに訪問看護ステーションも開設し、地域包括ケア病床数を徐々に増床し、在宅復帰支援及びサブアキュートの強化を図る。 ・引き続き人工透析中心に専門性の高い医療を提供していく。
12	宇部・小野田	厚南セントヒル病院	一般療養 80 40 40	急性慢性 80 40 40	急性慢性 80 40 40										・人工透析治療を主とした泌尿器科の診療が中心、一般病棟、療養病棟を持つケアミックスの病院であり、4機能で言えば慢性期寄りに位置する。 ・サポート病院として、内科系の救急受入を中心として宇部・山陽小野田圏域の救急輪番に参加している。	・当院の特徴を生かしたより専門性の高い医療の提供(人工透析治療、放射線治療(サイバーナイフ))。	急性 80 慢性 40 慢性 40			○		
13	宇部・小野田	シーサイド病院	療養 155 155	回復慢性 155 51 104	回復慢性 155 51 104	回リハ 51 51									・回復期機能、慢性期機能を担う。	・引き続き地域の中で急性期医療後の受け皿としての役割を担っていく。	回復 155 慢性 51 慢性 104			○		H25.7療養病床のうち51床を回復期病棟に転換、H30.11介護病棟から介護医療院に転換しており、引き続き急性期後の受け皿としての役割を担うと共に地域に密着した医療を目指します。
14	宇部・小野田	宇部西リハビリテーション病院	療養 250 250	回復慢性 250 121 129	回復慢性 250 121 129	回リハ 121 81 40 地ケア 40								○	・回復期リハ・地域包括ケア病棟を併せた回復期機能病床121床を中心に、急性期医療と在宅との橋渡しを念頭に置いた医療提供に努めている。	・回復期機能病床と療養病床との連携を軸に、チーム医療と365日毎日リハビリテーションの提供に努め、患者の在宅復帰に貢献する。 ・急性期病院における在院日数短縮に伴う退院促進化により、より重度な状態での患者受入ニーズが高まることから、スムーズな連携が行えるよう診療態勢の強化を図っていく。 ・慢性期医療における高齢者救急対応についても、在宅医療機関との連携をさらに強化し、持続・安定的な受入態勢を整備していく。 ・救急告示病院としての機能強化(宇部・山陽小野田・美祢広域医療圏における病院群輪番制サポート病院としての貢献)。	回復 250 慢性 121 慢性 129			○		当院は慢性期病床247床のうち78床を介護医療院、40床を地域包括ケア病棟に転換して回復期機能を担うなど、既に2025年にあるべき姿に達しているため、変更の予定はございません。
15	宇部・小野田	美祢市立美東病院	一般療養 100 60 40	急性慢性 100 60 40	急性慢性 100 60 40	地ケア 16 16									・本院は、一般病と療養病床の機能をもったケアミックス型の病院である。 ・美東・秋芳地区唯一の病院として、急性期医療、回復期医療、慢性期医療、在宅医療など良質かつ多様な医療を提供している。	・過疎化と高齢化の進展に伴う医療・介護需要の増大や、へき地や医療機関への通院に時間を要する地域(特に美祢市)での医療の確保の観点から、当院の地域において今後担うべき役割としては、当院の基本方針の一つである救急及び急性期医療をはじめ、リハビリテーション、慢性期医療までの一貫した医療を提供することである。	急性 100 回復 40 慢性 20 慢性 40			○		・令和2年以降の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により入院協力医療機関として一般病床60床のうち15床を休床し、コロナ病床(5床)を確保してきた。その状況下での地域包括ケア病床を16床から20床への機能転換は困難であったため、目標とする病床機能に達していないが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束に向かっていることを踏まえ、今後において目標達成に向けて取り組んでいくこととする。
16	宇部・小野田	美祢市立病院	一般療養 138 89 49	急性慢性 138 89 49	急性回復慢性 126 36 45 45	地ケア 30 30								○	・本院は、一般病床と療養病床の機能をもったケアミックス型の病院である。 ・退院後に在宅療養をされている患者にする訪問診療・訪問薬剤の実施や、介護老人保健施設の併設等により、急性期を脱した高齢の患者が転院することなく、当院の基本方針のひとつである「救急および急性期医療をはじめ、回復期医療、慢性期医療、在宅医療までの一貫した医療の提供に努める」ことが可能となっている。	・中山間地域である美祢市においては、一般病床・療養病床を有しているのは当院と美祢市立美東病院のみである。 ・特に高齢者にとってアクセスの良い身近な病院として、急性期・回復期・慢性期医療の提供や在宅医療の支援等多様な機能をもつことにより、美祢市の医療需要に柔軟に対応することが、当院の担うべき役割となる。	急性 126 回復 36 慢性 45 慢性 45			○		昨年7月に一般病床8床、療養病床4床の計12床の病床削減を行ったが、今後の推計人口や地域ニーズを基に、地域で担うべき病床機能及び病床数等を検証予定。
17	宇部・小野田	山口労災病院	一般療養 313 313	高度急性回復 313 6 247 60	高度急性回復 308 6 242 60	地ケア 60 60		○	○	○					・5 疾病5 事業(がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神の5 疾病、救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療の5 事業)のうち、へき地医療を除く5 疾病4 事業に係る医療提供の役割を負託。	・MDC分類のシェア状況を考慮し、圏域の医療需給バランスを安定的に維持できるような体制を目指す。	高度 308 急性 6 回復 242 回復 60			○		
18	宇部・小野田	長沢病院	療養 60 60	慢性 60 60	慢性 60 60									○	・慢性期機能を担う。	・24時間いつでも対応可能であり、特に、終末期の患者にとってはなくてはならない病院である。 ・山口労災病院との連携で在宅復帰できない患者の受け皿として、また難病患者の受け入れ可能な病院である。	慢性 60 慢性 60			○		2023年4月1日より循環器内科を開設。近い将来、看取り療養病棟の終焉が見えてきているなか、急性期からの入院受け入れは維持しながら「養生」のための病床から、専門性を生かした「治療目的」な療養病床を目指す。また、3名の常勤医師で24時間、365日対応できる在宅療養支援病院として、かかりつけ医としての役割を果たす。これから、住診・訪問診療に積極的に取り組む。

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R3.7.1 ※1	病床機能報告による機能別病床数 ※1		施設基準の状況 R3.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋(プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理) ※4	「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」の検討結果 ※5																	
				R3.7.1	R7.7.1		地域医療支援	救急医療施設	在宅療養支援	在宅療養後方支援	終末期医療		病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数(2025)	変更あり	変更なし	検討中	具体的な変更内容等											
19	宇部・小野田	小野田赤十字病院	一般療養 120 40 80	回復慢性 120 40 80	回復慢性 120 40 80	地ケア 40 40									○	・ケアミックス型の機能を有し、急性期患者の入院や、地域の在宅医療を担う診療所からの緊急入院、レスパイトケアの求めにも対応し、手術も行える病院。急変時や状態悪化時には速やかに受け入れ、安定すれば元の施設や診療所に戻す「病診連携・病施連携」を図っている。 ・在宅復帰困難者への受け皿としての役割を果たす。特に進行性の神経難病疾患受入れの医療機関としては、県内の中核病院である。 ・病状が不安定であるターミナル期、重症な褥瘡処置が必要な患者を高度急性期・急性期の病院から早期に受け入れることで、機能分化を担っている。 ・在宅復帰に向けた、訪問診療の実施、地域包括ケア病床の開設、併設の老人保健施設、訪問看護ステーションの運営等により、地域における地域包括ケアシステムの中核施設としての機能を充実させる。 ・急性期医療については、市内に当院よりも病床数の多い急性期病院が複数存在することから、大幅に機能を縮小する。 ・救急医療については、「働き方改革関連法」の医師への適用に合わせ、状況により夜間の急患の受入を中止又は制限する。 ・高度急性期病院等の受け皿として地域包括ケア病床や緩和ケア機能の充実強化を図り、病院の機能分化を進める。そのため、一般病床を全て地域包括病床へ転換するとともに、常勤内科医(特に脳神経内科医)の確保に努める。 ・地域包括ケアシステム構築の実現のためには、本院自体も地域包括病床や在宅復帰機能強化型の老健、介護医療院などを整備し、在宅と医療・介護サービスをよりシームレスにつなげる。	92 40 52				左記「変更なし」の理由 令和4年度中に宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議を開催して頂き、変更した当院の2025プランについて了承を得られているため。									
20	宇部・小野田	森田病院	療養 36 36	慢性 36 36	慢性 36 36										○	・慢性期機能を担う。 ・小規模病院としてのかかりつけ医の役割。病院として24時間365日対応可能。	36 36				腎不全患者に対して透析治療の提供。嚥下障害のある患者への入院栄養管理。急性期病院の受け皿、小規模病院としてのかかりつけ医の役割。病院として24時間365日対応可能。									
21	宇部・小野田	山陽小野田市民病院	一般 215 215	急性回復 215 160 55	急性回復 215 160 55	地ケア 55 55		○							○	・山口大学医学部附属病院の高度急性期機能を補完する一般病院であり、山口労災病院と小野田赤十字病院の間の中間的な急性期病院。 ・種々の合併症患者にも対応ができる腎・透析センターを保有するとともに、産婦人科医師及びスタッフが充実した地域の中核的な分娩取扱病院。 ・市内の介護・福祉施設の嘱託医として在宅診療に貢献する病院。 ・5疾病のうち4疾病について、引き続き、予防、急性期医療、回復期医療を通じて専門的治療を行っていく。 ・福祉行政部門との緊密な連携により在宅医療につなげていく。また、在宅療養後方支援病院として緊急時の一時入院に必要な後方病床の確保等、積極的に在宅療養の支援を行う。 ・お産や透析の機能を維持することで地域医療に貢献する。 ・市内の3つの公的病院が、機能を分担しながら医師会と連携して地域医療を確保する。 ・災害拠点病院として、災害医療体制の強化を図る。	215 215				今後の人口減少に伴う医療需要の減少、圏域内の病院との機能分化・連携強化を踏まえ、持続可能な医療提供体制の確保及び自院の経営の安定強化を図るため、医療圏で過剰となっている急性期病床を16床削減する。 ※R5.2月 調整会議でプラン変更を合意済み									
病院小計			4,023 一般 2,605 療養 1,418	4,023 高度急性 378 回復慢性 1,693 596 1,356	4,006 高度急性 378 回復慢性 1,635 724 1,269	642 回リハ 242 地ケア 400		2	10	5	5	0									3,990 高度 377 急性 1,673 回復 745 慢性 1,195	2	18	1						
22	宇部・小野田	しま産婦人科	一般 13 13	急性 13 13	急性 13 13												・急性期機能(分娩)を担う。 ・地域における周産期医療を担う。	13 13						○						
23	宇部・小野田	針間産婦人科	一般 4 4	急性 4 4	急性 4 4												・正常分娩を診ていくには、スタッフの人数、施設の老朽化も含め難しい面が多い。 ・他院ではなかなか時間がとれない若年妊娠、思春期、更年期、性的マイノリティなどに力をいれているが、それをもっと強化していく。	4 4						○						
24	宇部・小野田	のむら大腸肛門クリニック	一般 19 19	急性 19 19	急性 19 19												・4機能のうち急性期機能が中心。 ・大腸・肛門患者への対応を中心とした急性期医療の提供体制は維持していく。	19 19						○						
25	宇部・小野田	はしもと産婦人科医院	一般 11 11	急性 11 11	急性 11 11												・急性期機能(分娩)を担う。 ・地域における 出産・入院の ニーズに対応するため現状維持。	11 11						○						
26	宇部・小野田	吉永外科医院	一般 14 14	急性 14 14	急性 10 10												・日本大腸肛門病学会専門医として、引き続き肛門(痔)の手術を入院にて安全に行い、大病院の外科の負担を減らす。 ・大腸内視鏡検査にて、一泊入院で大腸ポリープのポリペクトミーを安全に行い、大病院の消化器科の負担を減らす。 ・宇部市の大腸がん検診の精密検査を施行する医療機関として、多くの他院からの紹介を受けている。 ・市内の身近なかかりつけ医としての機能も継続する。	10 10						○						
27	宇部・小野田	南園クリニック	一般 19 19	急性 19 19	急性 19 19												・人工透析患者に対する療養、外科的治療を要さない急性期脳卒中患者に対する療養、在宅医療を提供している方への療養が中心。 ・在宅医療を提供している方の急性期の対応を今後も充実させていく必要がある。 ・高度急性期からの在宅復帰に向けた患者の受け入れ機能を充実させていく必要がある。(脳卒中後のリハビリテーションの提供など)	19 19							○		・現状を維持していきます。			
28	宇部・小野田	植田救急クリニック	一般 10 10	急性 10 10	急性 10 10												・24時間365日急患対応できる救急クリニックとして地域に貢献。 ・急性期のみならず「かかりつけ医」としての役割も全うしていく。 ・これまで通り、地域の基幹病院と連携を図り、地域医療に貢献していく。	10 10							○					
29	宇部・小野田	紫苑リハビリ内科クリニック	一般 19 19	回復 19 19	回復 19 19												・回復期リハビリが中心。 ・脳血管及び骨折後等のリハビリを中心とした回復期リハビリを今後も続けていく。	19 19							○		・現状を維持していきます。			
診療所小計			109 一般 109 療養 0	109 高度急性 90 回復慢性 0	105 高度急性 86 回復慢性 0			0	0	2	0	1												105 高度 86 急性 19 回復 0	0	8	0			
医療圏合計			4,132 一般 2,714 療養 1,418	4,132 高度急性 378 回復慢性 1,783 615 1,356 休棟 0	4,111 高度急性 378 回復慢性 1,721 743 1,269 休棟 0	642 回リハ 242 地ケア 400		2	10	7	5	1														4,095 高度 377 急性 1,759 回復 764 慢性 1,195	2	26	1	

※1:令和3年度病床機能報告における病床数。 ※2:中国四国厚生局「届出受理医療機関名簿(届出項目別)」において、【地ケア:地域包括ケア病床入院料又は地域包括ケア入院医療管理料】、【回リハ:回復期リハビリテーション病床入院料】を届け出ている病床数。  
※3:【地域医療支援:地域医療支援病院の承認を受けた病院】、【救急医療施設:二次救急医療施設の認定を受けた病院は「○」、三次救急医療施設の認定を受けた病院は「◎」、【在宅医療支援:在宅医療支援病院又は在宅医療支援診療所の届出のある医療機関】、【在宅医療後方支援:在宅医療後方支援病院の届出のある病院】、【終末期医療:令和3年度病床機能報告における「有床診療所の病床の役割」の項目のうち、「終末期医療」を選択している有床診療所】  
※4:「機能別病床数(2025)」については、令和4年12月までに調整会議において合意された2025プランの内容を反映している。また、有床診療所については、「病床機能報告による病床数」の「R7.7.1」の機能別病床数を反映している。  
※5:「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」を行った結果、具体的対応方針(2025プラン等)について、①変更を行う場合、「変更あり」に○を付し、具体的な変更内容等を記載する。②変更が必要ない場合、「変更なし」に○を付し、変更しない理由等を記載する。③検討中の場合、「検討中」に○を付し、可能な範囲で具体的な検討内容を記載する。